

## 2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は菓子類の値上がりなどにより 2.1%の上昇、被服及び履物はシャツ・セーター・下着類の値上がりなどにより 1.8%の上昇、教育は補習教育の値上がりなどにより 1.1%の上昇となった。

一方、住居は家賃の値下がりなどにより 0.2%の下落、光熱・水道は灯油の値下がりなどにより 1.4%の下落、家具・家事用品は家庭用耐久財の値下がりなどにより 0.8%の下落、保健医療は医薬品・健康保持用摂取品の値下がりなどにより 0.5%の下落、交通・通信は自動車等関係費の値下がりなどにより 5.7%の下落、教養娯楽は教養娯楽用耐久財の値下がりなどにより 1.8%の下落、諸雑費は理美容用品の値下がりなどにより 0.9%の下落となった。

	前年比 (%)		寄与度	
	21年	20年	21年	20年
総合	-0.5	1.4	-0.54	1.46
食料	2.1	3.9	0.55	0.99
住居	-0.2	0.8	-0.04	0.16
光熱・水道	-1.4	3.6	-0.10	0.24
家具・家事用品	-0.8	-2.0	-0.02	-0.07
被服及び履物	1.8	0.4	0.09	0.02
保健医療	-0.5	0.0	-0.02	0.00
交通・通信	-5.7	1.9	-0.81	0.27
教育	1.1	0.3	0.04	0.01
教養娯楽	-1.8	-1.6	-0.18	-0.16
諸雑費	-0.9	-0.2	-0.06	-0.01

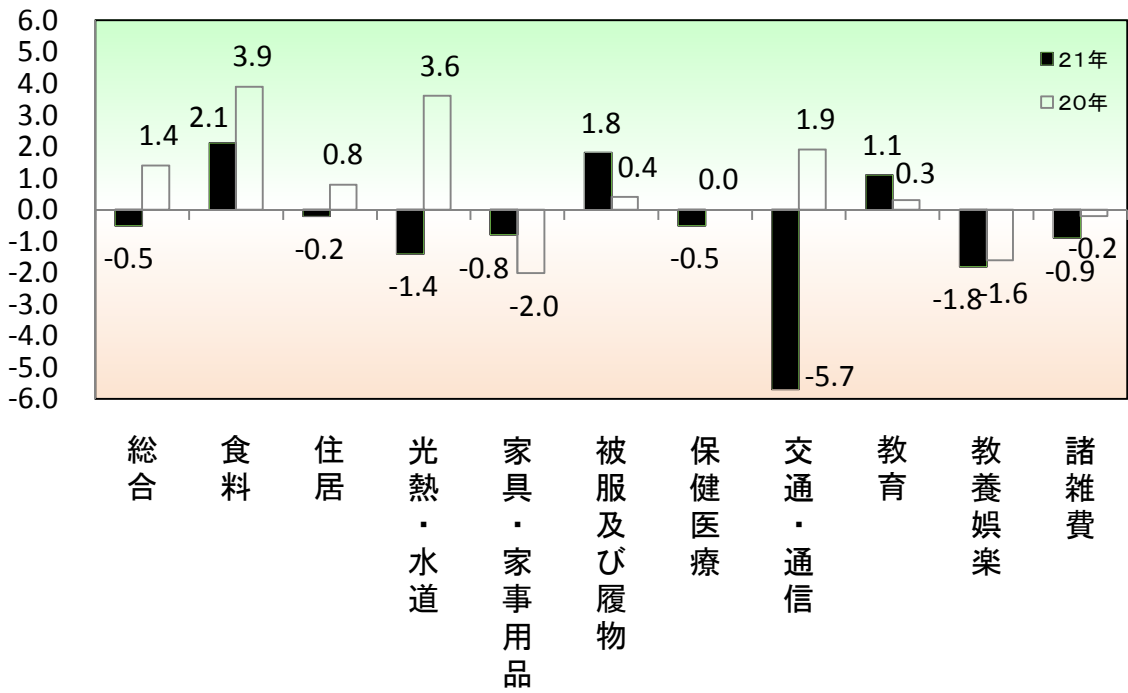
平成17年=100

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変動にどの程度の影響を与えたかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

